

研究タイトル：

地域特性に基づいた生活空間の計画



氏名： 菊池 義浩 / KIKUCHI Yoshihiro E-mail: kikuchiy@sendai-nct.ac.jp

職名： 准教授 学位： 博士(工学)

所属学会・協会： 日本建築学会, 農村計画学会, 日本都市計画学会

研究分野： 建築学

キーワード： 農村計画, 都市計画, 復興計画

技術相談： ・住民参加によるまちづくりの実践支援

提供可能技術： ・地域計画に関わる各種調査と計画作成

研究内容：

【研究テーマ】

定住的な人口の密度・規模が小さい地域など、都市的な生活利便性が必ずしも良いとは言えない地域において、どのように生活空間を計画していくか探求することが、当研究室の研究活動を通貫する課題である。現在は縮退する社会情勢のなか、住居を中心とした生活活動や地域コミュニティ等、これまでの地域構造の仕組みに歪が生じており、それをどう立て直していくかが課題となっている。生活行動の実態解明と施設配置の計画、住民主体によるまちづくりといった地域スケールでの生活空間計画の側面から、地域再生への問題解決に取り組んでいくことを目指している。

【研究内容】

■ 住民主体による震災復興活動とその展開

東日本大震災から10年以上が経過し、住宅および施設建設などの復興事業は概ね完了した。しかし、地域のコミュニティや産業を含めた「まち」としての復興は継続しており、その先のまちづくり今後も継続していく。自分たちの地域の再生に向けて自発的に取り組んでいる住民組織の活動に着目し、災害復興の理論・方法を探るとともに、集落のレジリエンスに着目した減災の計画手法について研究している。

図1は「第3回山元町浜通り復興まちづくりワークショップ」で、参加した住民から挙げられた意見を地図上に示したものだ。

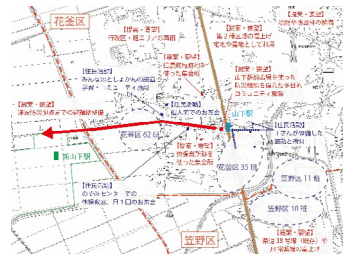


図1. コミュニティ再生に向けた活動と提案

■ 地域資源に基づくまちづくり

日本は多様な自然に恵まれている。人々はその環境に働きかけながら土地々々の生活文化を育み、集住する生活空間を形成してきた。歴史的な市街地や農村集落の景観には、地域の自然資源および社会資源が反映されていると捉えることができる。このような地域資源を読み解き、また、今後のまちづくりに活かす方法について探求している。

城崎温泉街(図2)は町の中心を大鷲川が流れており、木造3階建ての旅館が立ち並ぶ景観が特徴。7つの共同浴場(外湯)は、人々がまちを回遊する空間的な装置となっている。



図2. 城崎温泉のまちなみ

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)	